

令和 8 年 1 月 9 日

令和 7 年度スポーツ振興くじ(toto)助成事業

実施結果報告

独立行政法人日本スポーツ振興センターは、スポーツ振興くじ(toto)の収益を財源として、地方公共団体やスポーツ団体が行うスポーツ活動等に対して助成を実施しています。一般社団法人アクション・スポーツ推進委員会では、独立行政法人日本スポーツ振興センターからスポーツ振興くじ(toto)助成金をいただき、令和 7 年 10 月 12 日(日)～13 日(月)「第 8 回全国ボルダー小学生競技大会- JAPAN YOUTH BOULDER 2025 -」を開催いたしました。



大会現場写真

令和7年度 事業報告書

1/2

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目	スポーツ活動推進事業				
	スポーツ教室、スポーツ大会等の開催（スポーツ）				
助成事業者名	一般社団法人アクション・スポーツ推進委員会				
事業名	第8回全国ボルダー小学生競技大会-JAPAN BOULDER YOUTH 2025-				
事業の成果 （事業計画書に記載した 「目的及び期待される効果」を踏ま えて記入すること）	今年度も、小学生クライマーの全国大会として、各地域からトップクラスの選手が集結した。全国から集まった選手たちが互いに競い合い、技術を磨き合う貴重な機会となり、次世代の競技力向上に直結する大会として、一定の地位を確立できた。育成年代において全国規模の公式大会を経験できることは、日本のクライミング界全体の競技強化にも寄与したと感ずる。また、今回は福岡県に開催地を移したことでクライミング文化の浸透が限定的であった福岡において、大会の開催を通じて競技の魅力を広げることができた。来場者や地域住民にとってクライミングを身近に感じる機会となり、「未開の地」に新しいスポーツ文化をもたらすという面でも大きな成果を上げた。大会期間中にはパラクライミング体験会を開催し、障害の有無にかかわらず参加者が楽しめる機会を提供した。これにより、パラスポーツの認知促進・理解深化が進み、共生社会の実現に向けた取り組みとしても意義のある成果を得ることができた。				
事業に対する評価	本事業は、福岡県におけるスポーツクライミング大会および関連プログラムを通じ、競技の普及促進と地域スポーツ文化の発展を目的として実施した。参加者数については、当初想定していた人数には届かなかったものの、クライミング文化がまだ十分に根付いていない福岡県において、多くの参加者を集めることができた点は大きな成果である。特に、競技人口が限られる地域で初期段階から一定規模の参加者を獲得できたことは、今後の事業展開に向けて重要な基盤となった。また、本大会を福岡・九州で開催したこと自体が、同地域におけるクライミング発展の第一歩となった。選手・観客・地域関係者が競技に触れる機会が増えたことで、競技そのものの認知が向上し、地域内での関心や受容性が着実に高まりつつある。これにより、将来的な大会誘致や競技施設整備、ジュニア育成プログラムの推進など、地域レベルでのクライミング文化の定着に向けた動きが加速することが期待される。さらに、今年もパラクライミング体験会を継続実施したことで、2028年パラリンピックの正式種目化が予定されているパラクライミングの認知向上に寄与できたと考える。体験を通じて、競技としての魅力や競技者の高い技術、そしてパラスポーツ全体への理解が深まったことは、本事業が果たした大きな社会的役割のひとつである。				
実施した事業の内容	開催期間・開催日	令和 7 年 10 月 12 日 ～ 令和 7 年 10 月 13 日			
	主催者	一般社団法人アクション・スポーツ推進委員会			
	共催者				
	開催場所	いいづかスポーツ・リゾート ザ・リトリート テニスコート			
	募集方法	ホームページ・SNSにより開催要項を周知し募集			
	参加対象者	小学3～6年生男女			
	参加者数 スタッフ数	開催期間内の 事業実施回数	1	回	
		平均参加者数 (スタッフ・観覧者を除く)	173	人	総参加人数 173 人
		世代	①0～19歳	②20～39歳	③40～59歳
		性別			④60歳～ 合計
		男性	86		
		女性	87		
		計	173	0	0
		うち地域住民の参加人数(開催地に 住む方)	21	人	地域住民参加割合 12.1 %
		うち障がい者参加人数	0	人	障がい者参加割合 0.0 %
		実施日における運営スタッフ(請 負業者を除く)平均参加人数	15	人	参加者に対する 運営スタッフの割合 8.7 %
	緊急体制	□ 医師が待機 □ 看護師が待機 □ 会場にAEDを設置 □ 該当なし			

令和7年度 事業報告書

2/2

【スポーツ団体スポーツ活動助成】

助成事業細目		スポーツ活動推進事業	
		スポーツ教室、スポーツ大会等の開催（スポーツ）	
助成事業者名		一般社団法人アクション・スポーツ推進委員会	
事業名		第8回全国ボルダー小学生競技大会-JAPAN BOULDER YOUTH 2025-	
	くじ助成金以外の収入増加に向けた取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 行わなかった	取組内容 9,000円→10,000円と参加者料収入を増やした。 福岡県を中心に全国のジムにてチラシを配布し大会周知に努めた。
情報公開	事業実施計画の公表	<input checked="" type="checkbox"/> HPで参加者募集を告知した <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で参加者募集を告知した <input checked="" type="checkbox"/> 広くチラシを配布した <input checked="" type="checkbox"/> 特定の個人・団体へ声をかけ、参加を呼びかけた <input checked="" type="checkbox"/> その他（クライミング専門Web媒体、SNS）※具体的な手段を記載してください。 ※上記いずれかの広報・PRを行う必要があります。	
	事業の実施状況及び実施結果並びに助成金の使途に関する情報の公開	情報の公開方法（複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/> HPで公開 <input type="checkbox"/> 広報誌・会報誌等で公開 <input type="checkbox"/> 事務所等に備え、自由に閲覧できる環境を整備 <input type="checkbox"/> 情報開示請求があった場合に開示 <input type="checkbox"/> その他（ ）※具体的な公開手段を記載してください。 ※上記いずれかの公開が必要です。
		公表した内容（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 事業の実施状況（助成金の交付を受けている旨を記載し、事業の進捗、途中経過を公開） <input checked="" type="checkbox"/> 事業の実施結果（助成金の交付を受けた旨を記載し、事業の完了報告を公開） <input type="checkbox"/> 助成金の使途に関する情報（助成金額（交付決定額）及び何に使用したのかを公開） ※上記いずれかの公表が必要です。
事業実施後に参加者等に対する満足度調査を行ったか		<input type="checkbox"/> 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行わなかった	実施方法
備考			